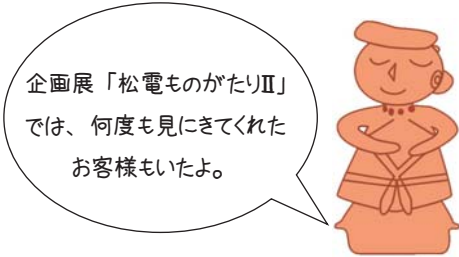


はにわ通信

No.210 平成 24 (2012) 年 9 月号



【松電ものがたりⅡ】

ギャラリーで開催した「松電ものがたり～消えたレールの記憶Ⅱ～」は、猛暑にもかかわらず、市内はもちろん県内各地や県外からをあわせて、2,605 人ものお客様にご覧いただきました。かつて松電に勤務されていた方、乗客として利用されていた方、鉄道が趣味の方……。本当にたくさんの方々がお来場いただきました。今回は、会場で頂いた感想の一部を紹介させていただきます。

松電は、私が飯南の奥から松阪の大都会に出てくる足でした。そして、松阪に就職しました。今思えば、わずか1年ぐらゐの間でしたが、行きは緊張し、帰りは実家に帰れる喜びで、胸ワクワクしたものです。

山、川のけしきは、今も目を閉じれば思い出されます。なつかしい松電。私の若かりし頃の貴重な思い出です。

【昭和 24 年生まれ 女性】



娘の頃会社へ行っていたので、正月・お盆はいなかへかえります。その時の頃のことを思い、なみだが出ました。なつかしい松電です。

【85 歳 女性】



父の実家が片野橋から 20 分ほどでしたので、母に連れられて松電を利用させていただきました。すでにその頃父は他界していました。私は四日市ですので、湯の山線を利用しました。当時の湯の山線は松電と同じゲージの 762 で、パンタはなく、ポールでした。とにかくなつかしく、感動のカタマリです。よい企画ありがとうございました。

【四日市市在住 男性】

今後も市民ギャラリーでは、写真を中心とした「ちょっと昔の“まつさか”」をテーマとした企画展を行ないたいと思います。「こんな展示してみたい、やってほしい」というご意見・ご希望がありましたら、文化財センターまでお知らせください。(担当)

【秋 既に近し】

目をつぶりてみれば秋既に近し

白埴の 瓶に桔梗を 活けしかば 冴えたる秋は 既にふふめり

ながつか たかし
長塚 節

(白くなめらかなつやをもつ花びんにキキョウの花をいけると、澄んだ秋のけはいがもうそこにはこもっている。)

こよみの上では、大気が冷えてつゆがではじめめる白露のころになりました。ひるまの残暑はあいかわらずですが朝夕は、「ふふむ(含む)」のいみどおり秋はまだ開いていないものの、着実に夏のおわりにむかってふくらんでいるとの感じをうける季節でもあります。

文化財センターの市民ギャラリーでは、今回はじめての企画として、市内の公立保育園の園児のみなさんに参加いただいて造形作品展をおこないました。(8月)壁いっぱいにかかれた花火、ひまわり畑や等身大の人物、風鈴、カカシ、陶芸などなど、園児のみなさんの自由でのびやかな創造力は、おとなたちを圧倒する迫力をもっていました。



ところで、「はにわ館開館 10 周年記念特別展」(10月6日～11月25日)が、開催まであますところ1ヶ月になりました。タイトルは「ねむれる王たちの至宝～出土品からみた古墳世界～」に決定しました。現在、準備作業は重要文化財等の展示をふくめた仕上げの段階にはなっています。どうかご期待ください。

長塚 節 (1879～1915) 歌人 小説家 茨城県生
「土」は農民文学の傑作
(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 9月の催し物予定

9月の休館日は3日・10日・18日・24日です。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100 円 (18 歳以下無料。)
第 1 展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」



【ギャラリー】 入場無料

第 1・2・3 ギャラリー ■平成 24 年度松阪市児童生徒科学作品展 9/8 (土)～9/9 (日)*毎日 16:00 まで

第 1 ギャラリー ■奥伊勢フォトクラブ『第 10 回華火写真展』 9/13 (木)～9/23 (日)*23 日は 16:00 まで

第 2 ギャラリー ■川上建次展～君がシマウマを喰うのか!～ 9/15 (土)～9/20 (木)*毎日 10:00～